



KONICA MINOLTA

分光測色計 CM-23d と SpectraMagic NX を接続して使用する場合

分光測色計CM-23dはSpectraMagic NX Ver. 3.1以降で対応しています。SpectraMagic NXをCM-23dに接続して使用する場合は、SpectraMagic NXの取扱説明書に記載の分光測色計CM-25dと接続して使用する場合は操作とほぼ同じですが、以下の点で異なります。

使用できない機能

以下のCM-25dと接続している場合の機能はCM-23dと接続している場合は使用できません。

- CM-23dへユーザー光源を設定することはできません。
- CM-23dへユーザー校正値を設定することはできません。
- CM-23dへジョブ設定をすることはできません。

CM-23dへ基準色データを書き込む場合の注意点

- SpectraMagic NXで手入力されたハンターLab値をCM-23dへ基準色データとして書き込む場合、自動的にL*a*b*データに変換して測定器に書き込まれます。
- 以下の項目の限界値設定はできません。
 - ・ ΔL (Hunter), Δa (Hunter), Δb (Hunter), ΔE_{ab} (Hunter)
 - ・ ΔE_{99}
 - ・ ΔWI (CIE 1982), Tint 差(CIE)
 - ・ ΔYI (ASTM E313-73)
 - ・ ブライトネス差(ISO 2470)
 - ・ 濃度三刺激値, 濃度三刺激値X, 濃度三刺激値Y, 濃度三刺激値Z
 - ・ グレイスケール

CM-23dへユーザーインデックスを書き込む場合の注意点

- CM-23dへユーザーインデックスを書き込む場合、以下の測定値は使用できません。
 - ・ L(Hunter), a(Hunter), b(Hunter), ΔL (Hunter), Δa (Hunter), Δb (Hunter), ΔE (Hunter)
 - ・ WI CIE, ΔWI CIE, Tint CIE, $\Delta Tint$ CIE
 - ・ YI(E313-73), ΔYI (E313-73)
 - ・ B(ISO), ΔB (ISO)